

第7回特別展

二上山麓の石が語る世界

— 女王・卑弥呼から太閤秀吉まで —

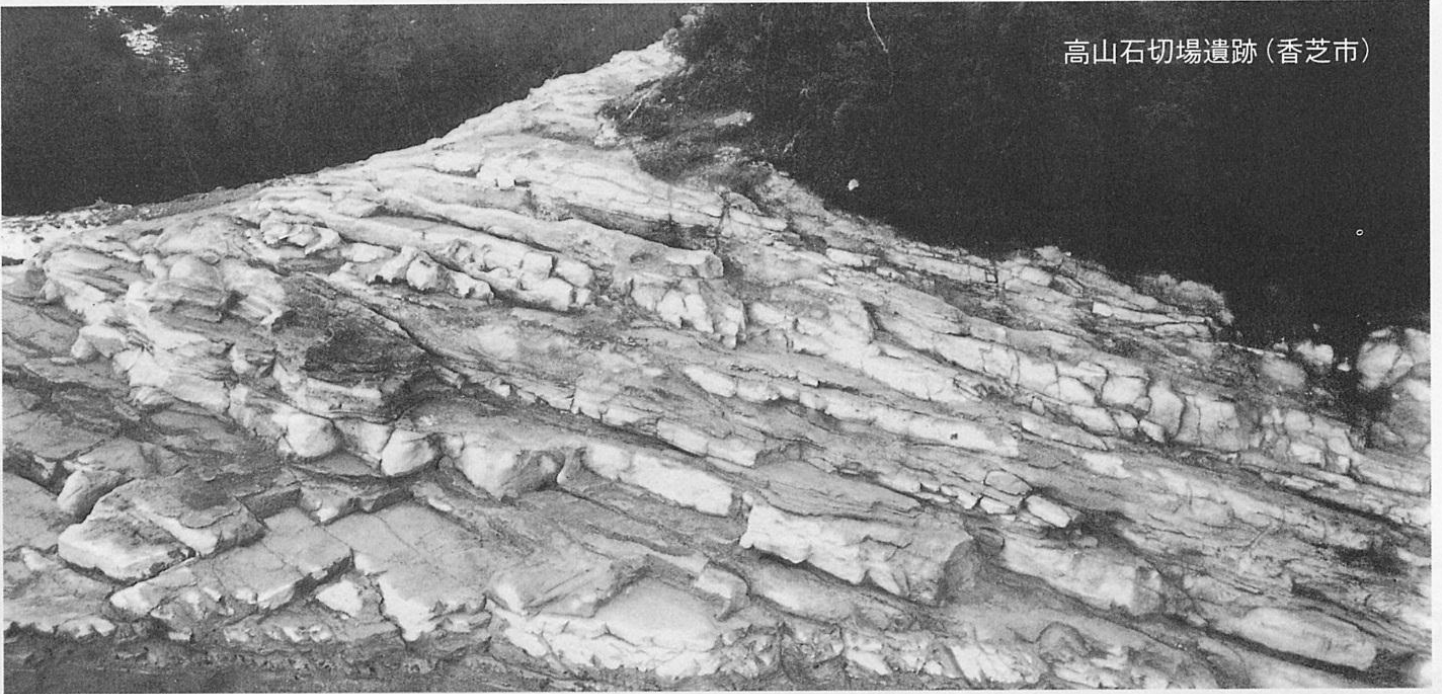
'95
4/29^{SAT} ⇒ 6/18^{SUN}

9:00～17:00 (入館は16:30まで) ●月曜日休館

香芝市

二上山博物館

〒639-02 奈良県香芝市藤山1丁目17-17 (☎07457-7-1700)



古代の石材センター・二上山。日本の国土が統一されようとする邪馬台国の時代（3世紀）から慶長13（1608）年の狭山池（大阪狭山市）の大改修の時期まで、二上山麓の石は各地でさかんに利用されました。

昨年、高山石切場遺跡（香芝市穴虫）の発掘調査を機縁に企画しました第7回特別展では、古墳時代から近世初頭にかけて二上山麓の石がはたした役割を探ります。なかでも、凝灰岩は古墳の石棺や寺院・宮殿の基壇化粧石、中世石造品などに積極的に利用されますが、凝灰岩以外の石でも古墳の葺石などにつかわれたことがわかってきました。



特別展関連催し物

5月4日 11:00～

●記念シンポジウム

『二上山麓の石が語る世界Ⅰ ― 箸墓から高松塚まで―』

間壁霞子氏：神戸女子大学教授

「石棺石材の流通と大和―二上山の石と亀山の石―」

和田晴吾氏：立命館大学教授

「石棺の出現とその意味」

奥田 尚氏：八尾市立曙川小学校教諭

「古墳時代の二上山系石材の用途と石切場」

〔司会〕石野博信：香芝市二上山博物館長

■ふたかみ文化センター 市民ホール ★当日の観覧券が必要です。

5月13日 10:00～

●記念シンポジウム

『二上山麓の石が語る世界Ⅱ ― 飛鳥寺から平安京まで―』

亀田 博氏：奈良県立橿原考古学研究所第2調査課長

「大和の寺院・宮殿と二上山の凝灰岩」

山中 章氏：(財)向日市埋蔵文化財センター長

「凝灰岩三都物語 ― 平城・長岡・平安京の基壇化粧―」

奥田 尚氏：八尾市立曙川小学校教諭

「寺院・宮殿の二上山系石材の用途と石切場」

〔司会〕石野博信：香芝市二上山博物館長

■ふたかみ文化センター 市民ホール ★当日の観覧券が必要です。

5月27日 14:00～

●記念講演会

『二上山の石とヒト―卑弥呼と秀吉―』

石野博信：香芝市二上山博物館長

■ふたかみ文化センター 市民ホール ★当日の観覧券が必要です。

6月11日 14:00～

●記念講演会

『大和の石造物と二上山の凝灰岩』

藤原典彦氏：(財)元興寺文化財研究所人文考古学研究室長

■ふたかみ文化センター 第1～3会議室 ★当日の観覧券が必要です。

●観覧料／一般…300円(250円) 高校・大学生…200円(150円) 小・中学生…150円(100円) ●()内は団体20名以上の料金。●常設展も観覧できます。

問い合わせ先 〒639-02 奈良県香芝市藤山1丁目17-17 TEL：07457-7-1700